

## 第1編 国勢調査 一人口、就業者数一

- 注) 第1表： 1) 昭和25年各区の80～84歳欄の数値は、80歳以上の合計である。  
 2) 「その2年齢(3区分), 男女別人口」の総数については年齢不詳を含むため、内訳の合計とは一致しない。  
 3) 構成比は、年齢不詳を除いて算出している。
- 第2表： 4) 昭和25年は14歳以上人口である。  
 5) 総数には、労働力状態不詳を含む。なお、昭和50年の「非労働力人口」は、労働力状態不詳が含まれている。  
 6) 労働力率=労働力人口/15歳以上人口(昭和25年は14歳以上人口)  
 7) 労働力率は、労働力状態不詳を除いて算出している。
- 第3表： 8) 注 4)  
 9) 昭和25年、30年の「運輸・通信業」には「電気・ガス・熱供給・水道業」を含む。  
 10) 昭和25年～40年の「金融・保険業」には「不動産業」を含む。
- 第4表： 11) 注 4)  
 12) 昭和25年～35年の「サービス職業従事者」には「保安職業従事者」を含む。  
 13) 昭和50年は、20%抽出集計結果である。
- 第5表： 14) 昭和25年の「普通世帯」には、1人の「準世帯」を含む。  
 15) 昭和50年以降は、年齢不詳が集計対象から除かれている。  
 16) 「普通世帯・準世帯」と「一般世帯・施設等の世帯」との対応関係は以下のとおりである。

	一般世帯	施設等の世帯
普通世帯	<ul style="list-style-type: none"> <li>住居と生計を共にしている人の集まり</li> <li>1戸を構えて住んでいる単身者</li> </ul>	
準世帯	<ul style="list-style-type: none"> <li>間借り・下宿などの単身者</li> <li>会社などの独身寮の単身者</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>寮・寄宿舎の学生・生徒</li> <li>病院・療養所の入院者</li> <li>社会施設の入居者</li> <li>自衛隊の営舎内居住者</li> <li>矯正施設の入居者</li> <li>その他</li> </ul>

第6表：17) 北区・中央区の昭和60年以前の流入・流出人口は15歳未満を除く。

18) 昼間人口＝常住人口＋流入人口－流出人口

ただし、昭和55年～平成17年については、昼間人口の算出基礎となる常住人口は、年齢不詳を除く常住人口である。

19) 「昼夜間人口比率」は、常住人口100人に対する昼間人口の割合であり、昼間人口と常住人口が等しい場合は、100.0となる。

第7表：20) 昭和40年の「大阪市」各産業の「自区内」の数値は、「市内他区」を含む。

21) 昭和40年、45年の「区別」各産業の「市内他区」の数値は、「他市区町村」を含む。

22) 昭和35年～45年の「金融・保険業」には「不動産業」を含む。

23) 昭和45年の「農業」には「林業、狩猟業」を含む。

24) 平成22年の産業別昼間就業者数は、従業地不詳で、当地に常住している者を含む。

第8表：25) 注 22)

26) 注 23)

27) 注 24)

第9表：28) 昭和45年～55年は20%抽出集計結果である。

29) 昭和60年は、総数は全数集計結果、男女別は20%抽出集計結果である。